

第6回富士見市男女共同参画社会確立協議会会議録

- 日時 平成21年10月28日(水) 10:00~12:00
- 場所 第1会議室
- 出席者 委員 金子(美)、金子(典)、森田、吉川、神保、高橋(秀)、
横田、嶋、高橋(千)、金子(眞)、
専門委員 小西
事務局 金子、山岸、外澤
- 開 会 高橋会長
議 題 (1)平成20年度 男女共同参画年次報告(案)について
全体を通して意見を求める
- <委員>第1部の1社会環境の状況で、保育所待機児のデータを追加すると、既に示されている女性の年齢別労働力率のM字型曲線と見比べることができたりと、効果的なのではないかと、
グラフを作成し、効果的なデータであれば追加する。
- <委員>P15の実施状況の中で“ジェンダーフリー等”という記述があるが、現プランは、見直しの時に“ジェンダーフリー”という表現は使用しないという統一見解のもと改定された。この点についてはどうか。
これについては、担当課が実施した学習内容の一部であるため、そのまま掲載したいと思う。
- <委員>P17の学校教育課で活用した“やってみようジェンダーチェック”は“県教委発行”となっているが、市発行の冊子と同じ名称なので、確認した方がよいのではないかと、
担当課に確認する。
- <委員>実施状況の記載のみで、この報告により何が言えるのかが分かりづらい。評価的な文章を入れた方がよいと思う。
- <事務局>年次報告書の作成は今回が初めてであり、経年で追えないため評価が難しい。また、現プランではほとんど指標を設定していないので、達成度などについても表現が難しい。
- <委員>どのようなところが成果として認められたか。また今後の課題は何か。といったことなどをコンパクトにまとめるだけでも良いと思う。
“はじめに”や“概況”といった項目を設けて、そのような内容を記述する。
- (2)男女共同参画社会確立のための富士見市行動計画の策定にあたって事務局から、ジェンダー・エンパワメント指数(GEM)について新

しいデータが出されたので、その部分を訂正する旨を説明した。

- < 委員 > 「はじめに」の2段落目の2行目「...性差にしばられることなく、～」という部分は、「...性差やジェンダーにしばられることなく、～」と、した方がよいのではないか。性差が、社会的に作られたものという部分を含めて考えられる人は少ないと思うのでジェンダーという表現を加えた方がよいと思う。
- < 委員 > ジェンダー自体の概念がまだ広く理解されていない状況で、言葉だけ付け加えてもあまり意味がないのではないか。ここは導入部分にあたり、あえてジェンダーは使用せず、日本語の表現にした方がよいのではないか。
- < 専門委員 > 表現は、“性差“のままにして、印で現プランに掲載している“ジェンダー“の概念を注釈として記載したらどうか。
一同賛成。

(3) 具体的取り組みについて (No. 20 から)

- < 委員 > No. 22 と No. 23 「～支援します。」を「～支援を継続します。」に変更した方がよいのではないか。
No. 22 と No. 23 を「～支援を継続します。」に変更する。
- < 委員 > No. 24 「外国人への相談、情報提供を充実します。」を「外国人に対して相談・情報提供を充実させます。」に変更した方がよいのではないか。
No. 24 を「外国人に対して相談・情報提供を充実させます。」に変更する
- < 委員 > No. 30 . No. 31 の意識啓発の中に、“アンペイドワーク”について含めた方がよいと思う。
アンペイドワークには、地域やボランティア活動も含まれることから、事務局で盛り込む先を検討する。
- < 委員 > No. 54 の放課後児童クラブは、現プラン策定時と同じように“開室時間延長”を計画しているのか確認が必要。
事務局が取り組み継続でよいか確認する。
- < 委員 > No. 55 の“児童館の増設”継続して計画しているのか確認が必要。
事務局が取り組み継続でよいか確認する。
- < 委員 > No. 58 のあすなろ教室はすでに開設しているので、“開設し”という表現は合っていない。
- < 委員 > “支援”という表現を主に当プランでは使用してきたが、あえてこ

こは“援助”とする必要があるのか。

「～あすなろを中心に、自立と再登校を支援します。」に変更する。

<委員> No. 60の「子どもの教育上の悩みを持つ～」は、教育上に限定しない方がよいのではないか。

「子どもの養育に悩みを持つ～」に変更する。

<委員> No. 64とNo. 65の子育てボランティア等と、小・中学生を含めた子育てボランティア等の育成との違いがよくわからない。また、No. 65も「～します。」ではなく「～図ります。」とした方がよいのではないか。

事務局が確認する。また、No. 65を継続させる場合は「～図ります。」と変更する。

<委員> No. 68には、ぜひ公園も明記してほしい。

「～配慮した道路、公園、公共施設等の都市基盤整備を図ります。」に変更する。

<委員> No. 74には、障害者だけでなく、高齢者も含めたほうが良いと思う。

「地域で高齢者や障害者を支援するサービスを充実します。」に変更する。

<委員> 地域で支援するのは、市民か？それとも行政か？地域で市民同士が支えるのなら“サービス”という表現を工夫した方がよいのではないか。

事務局が高齢者と障害者の計画の内容を確認し、次回表現を含めて提案する。

その他 会長と副会長から懇親会の提案があり、委員の賛同を受けて12月あたりに計画することになった。

次回の協議会開催日について

平成21年10月25日(水)午前10時～ 市長公室

資料

・次第

(事前資料)

・平成20年度 男女共同参画年次報告(案)

・男女共同参画社会確立のための富士見市行動計画の策定にあたって(案)

・計画の体系と具体的取り組み(案)

閉会

横田副会長